

メグスリノキ

砧12

都立砧公園 砧公園1-1



樹皮や葉を煎じて洗眼に用いたことが名前の由来です。カエデの仲間で葉が赤く色づきます。2本のメグスリノキの間にヒトツバタゴ（P11）があります。



トウカエデ

園11

都立園芸高等学校 深沢 5-38



上の方で4つに分かれた樹形で、美しい扇形の株立ちをしています。高さも20mを超える大木です。

中国原産のカエデで、唐楓の名前の由来になっています。葉の先が浅く3つに裂けた形をしているのが特徴です。



冬の花

景色に彩りを添える冬の花。
冬は昆虫のかわりにメジロなどの鳥が蜜を吸いに来て花粉を花から花へと運びます。



ヤブツバキ

100

稲荷神社 砧 6-3

ヤブツバキとしてはとても大きく、古くからある木だと考えられます。整った樹形で、冬には花をたくさん咲かせます。朱塗りの神社と並んだ風景にも趣があります。



開花：12月～1月

ヤブツバキ

99

個人宅 駒沢 1-16

樹形の整った古木で、苔むした太い幹からは歴史が感じられます。ヤブツバキは一般に11月～4月ごろに花を咲かせますが、この木は割と遅咲きのようです。



開花：3月～4月上旬



サザンカ

63

個人宅 南烏山 6-22

太い幹が大樹の面影を残し、晩秋から初冬にかけて白い花をたくさん咲かせます。敷地内には木を囲むようにサークルベンチが置かれ、所有者の木への親しみがうかがえます。



開花：11月～12月

名木 ベスト3

幹周り

幹周りが太い名木ベスト3を集めました。
幹周 6mを超えるのはこの3本で、大人でも4～5人で両手を広げて囲むような大きさです。どれもどっしりと根を張っています。



玉川神社のとっくりグス
(クスノキ)

761cm

玉川神社 等々力3-27



指天3

根元が著しく肥大し、どの方向から見ても徳利のような面白い樹形をしたクスノキです。肥大した部分の樹皮は通常の縦縞模様ではなく、ごつごつした形状になっています。この木は、世田谷区指定天然記念物に指定されています。





イチョウ

718cm

森巖寺 代沢 3-27



15



昭和 61 (1986) 年度には名木の中でいちばん太い木でした。今でも幹周り 7m を超え、歴史を感じさせる堂々とした古木です。森巖寺にはイチョウがほかにもたくさんあり、紅葉の時期には境内が鮮やかな黄色に染まったイチョウの葉で包まれます。



クスノキ

628cm

乗泉寺世田谷別院 宮坂 2-1

指天1

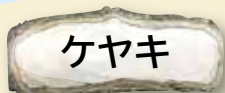
クスノキは寿命が長く、大きく育つ木です。幹周りの太さもさることながら枝を大きく広げた丸く美しい樹形が見事です。昭和 61 (1986) 年度の名木百選では枝張りが最大級と紹介されていました。現在でも枝張りの大きさは東西 26m、南北 27.5m と、なお最大級です。この木は、世田谷区指定天然記念物に指定されています。



名木 ベスト3

樹高

どれも高さ 30mを超える木です。空高く、まっすぐ伸びた姿は壮観です。



33.5m

個人宅 南鳥山 3-6

55

堂々たる樹形が道路からよく見えます。樹高 33.5m は一般的な 10 階建てのビルと同じか少し高いくらいです。





イチヨウ

32.7m

16

無量寺 用賀 4-20



お寺の門をくぐると、大きなイチヨウ
が出迎えてくれます。高さだけでなく、
幹周りも 4mを超え、名木のイチヨウの
中では 2 番目に太い立派な木です。



ケヤキ

31.4m

54

個人宅 粕谷 2-11



枝を放射状に広げた姿が美しく、樹形
の整ったケヤキです。大きな木で長年こ
こに生育していると考えられますが、傷
や枯れも無く、状態のよい木です。

かつての農村風景を思わせる「粕谷二
丁目本橋家の竹林市民緑地」と隣接して
おり、歴史を感じさせます。



大きく育った 名木

(特別編)

あまり高く伸びる種類でなくても、大切に育てられ、長い時間をかけて大きく育った木があります。ここでは特別編として紹介します。

シダレヤナギ

砧4

都立砧公園 砧公園1-1



中国原産ですが、古くから日本各地で栽培され、水辺によく植えられました。一般的な樹高は8～17mほどといわれますが、この木は19mを越える大木です。幹が三又に分かれ、樹冠も大きく立派な木です。ファミリーパークと呼ばれるエリアの「一の橋」のたもとにあります。

